

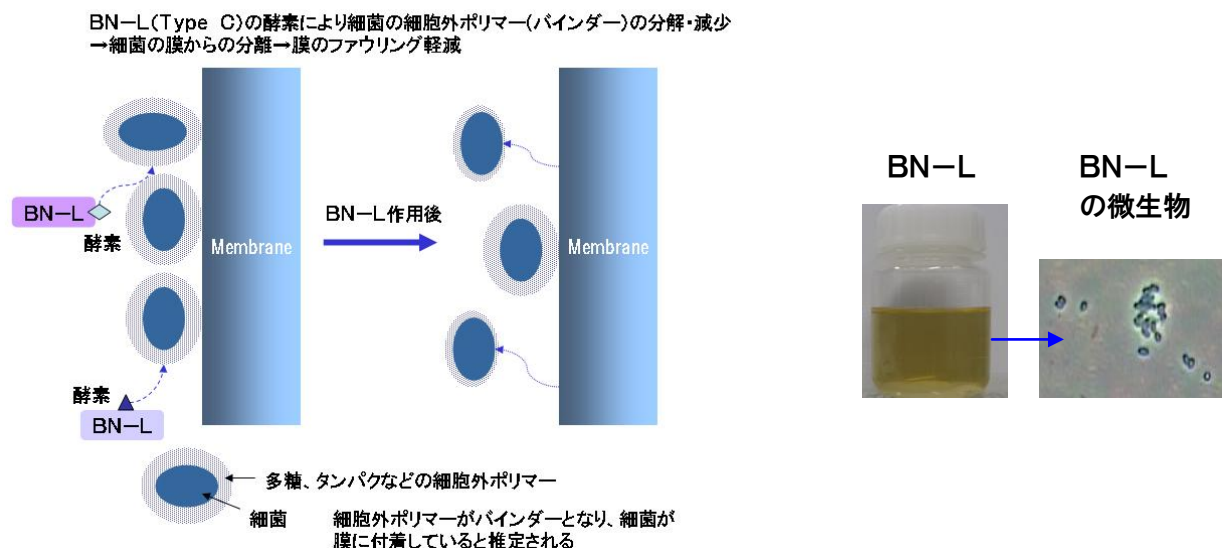
■ ラパントBN-L(Type C)の性能

ラパントBN-L(Type C)は、澱粉、タンパクおよび脂質の分解能の高い微生物を数種類含むため、細菌が体外に代謝分泌する多糖およびタンパクなどの細胞外ポリマーを分解する性能を有しています。

MBR(Membrane bio-reactor)では細菌が、細胞外ポリマーをバインダーとして膜表層に生物膜を形成し、膜ファウリングの原因になります。

ラパントBN-L(Type C)は、膜表層に付着している細菌の細胞外ポリマーを分解し、細菌を膜から剥離するため、膜ファウリングの軽減に有効です。

ラパントBN-L(Type C)の膜のファウリング防止機構(推定)



■ ラパントBN-L(Type C)の効果および使用要領

ラパントBN-L(Type C)によって膜ファウリングが軽減されるため、1)フラックスの向上、2)膜間差圧の低下、3)膜の薬剤洗浄頻度の減少などが期待できます。

ラパントBN-Lは、排水処理状況(膜ファウリングの状況)に応じて週1回~毎日使用しますが、1日あたりの使用量は、排水処理酸化槽(MBR槽、曝気槽)容積に対して1mg/l濃度前後が目安です。

■ ラパントBN-L(Type C)ご使用上の注意点

ラパントBN-L(Type C)は、膜表層の細菌とともに、MBR系内に堆積している汚泥(細菌)も剥離します。系内に堆積汚泥が多い場合は、ラパントBN-L(Type C)によって多量の堆積汚泥が剥離し、泡が発生するなどの問題を引き起こす可能性がありますので、ラパントBN-L(Type C)のご使用前に、排水処理施設および処理状況に関しまして十分にご相談させていただいた上ご使用いただいております。

詳細につきましては当社までお問合せください。

- * 本資料は製品の性能、効果を保証するものではありません。
- * 本資料は製品の性能、品質の全てについてご説明するものではありません。
- * 本資料の製品仕様、内容について予告なく変更する場合があります。

三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社

エンジニアリング事業部水処理部アクアケミカルグループ

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー10F

TEL : 03-6748-7466 担当者 : 秋山、渡邊